

新法人組織「Nスポーツコミッションなよろ」の加盟に関する説明会 顛末

○開催日時 令和7年4月7日（月）18:00～19:45

○場 所 駅前交流プラザ「よろーな」大会議室

○出席者 【新法人設立準備委員】3名

名寄市スポーツ協会評議員	今 尚 文
風連町スポーツ協会理事	山 崎 真由美
名寄市総合政策部長	石 橋 毅

【名寄市スポーツ協会役員】1名

名寄市スポーツ協会理事	遠 藤 和 之
-------------	---------

【加盟団体】24団体・31名

名寄地方スキー連盟総務部長	中 西 薫
名寄パークゴルフ協会会長	佐々木 雅 之
名寄ソフトテニス連盟競技部長	森 田 俊 雄
名寄ソフトテニス連盟事務局長	太 斉 淳 一
名寄市バドミントン協会会長	小 山 文 功
名寄市バドミントン協会理事長	小 西 章 子
名寄少林寺拳法協会事務局長	塚 越 博 忠
名寄白樺カントリー倶楽部副支配人	越 野 倫 大
名寄水泳協会理事長	白 岩 裕 二
名寄水泳協会理事	林 田 勝 也
名寄剣道連盟会長	今 井 利 憲
名寄テニス協会副会長	猪 俣 龍 治
名寄テニス協会事務局長	吉 田 祐 美
名寄フォークダンス協会理事長	客 野 裕 美
名寄卓球協会理事長	堀 宏 拓
名寄サイクリング協会理事長兼事務局長	藤 原 雄 司
道北陸上競技協会名寄支部副会長	石 川 太一郎
名寄弓道会副会長	田 中 吉 則
名寄パワーリフティング協会理事	近 藤 啓 一
名寄地区サッカー協会理事長	森 谷 曜 緒
名寄地区サッカー協会事務局長	小 林 訓 伯
名寄銃剣道連盟理事	谷 博 文
極真会館北海道名寄支部支部長	若 林 慧
名寄カーリング協会事務局長	松 田 慎 司

名寄市柔道連盟理事長	和 久 朋 行
名寄地区バレーボール協会会長	大 沼 広 明
名寄地区バレーボール協会総務委員長	渡 辺 裕 也
名寄地区バレーボール協会総務副委員長	山 野 由 依
名寄軟式野球連盟理事長	伊 藤 慈 生
名寄市バスケットボール連盟	鯖 戸 貴 也
名寄サバゲー推進協会会長	大 高 隆 史

【少年団】 6 団体・ 6 名

名寄ミニバスケットボール少年団代表指導者	鯖 戸 貴 也
名寄サッカー少年団副団長	千 葉 章 雅
名寄サッカー少年団コーチ	鈴 木 祐 司
名寄南ジュニアバレーボール少年団代表指導者	長 谷 大 輝
名寄クロスカントリー少年団事務局長	三 上 岳 瑠
名寄卓球少年団代表指導者	刈 谷 直 幸
風連トランポリン少年団代表者	杉 野 かおる

【設立準備委員会事務局】 5 名

設立準備委員会事務局長	松 澤 大 介
設立準備委員会事務局	片 井 省 仁
〃	小 田 美紗子
〃	安 澤 豊
〃	名和谷 香 代

○挨拶 新法人設立準備委員会委員 今 尚文 があいさつを行い、本説明会の議長として議事を進行する旨を説明した。

○説明

(1) 経過報告について

事務局より、令和 6 年 1 0 月 2 1 日開催の名スポ加盟団体担当者会議後の経過について報告を行った。

(2) 新法人組織の概要について

事務局より、新法人設立準備委員会において合意された内容について、概要説明書に基づいて説明を行った。又、継続加盟における「確認書」についても、後日提出して頂くようお願いした。

○質疑応答等

議長より、参加団体に対して質問及び意見を求めたところ次のとおりの意見等が出された。

※以下のとおり「質問」及び「提案」に分けて簡潔に記載する。

【質問】

質問：事務局体制で、事務局長予定の地域活性化企業人 1 名と地域おこし協力隊 3 名の採用の目処は立っているのか？又、地域おこし協力隊の期限満了となる 3 年後の予算について行政サイドと調整がついているのか？併せて、仮に雇用予定の人材が確保できなかった場合、特に事務局長に関してはどう対応するのか？（バレー協会）

回答：地域活性化企業人及び地域おこし協力隊のいずれも、現在名寄市で募集している段階であり、数件の問い合わせはあるが、現状は目処が立っていない状況である。

又、仮に雇用予定数を下回った場合の対応については、新法人設立準備委員会にて、その対応を協議していく事になる。（事務局）

質問：個人会員で、年会費を支払って会員になるメリットはあるのか？（風連トランポリン少年団）

回答：会員を対象にした会議体を開催し、更にはその会議体で構成された専門員会を設置する組織形態になっている。メリットとしてはこの会議体や専門委員会で意見等の発言や会員間の横の繋がりを持つ事でメリットを感じて頂きたい。又、組織が確立し事業等も充実・拡大されることで、会員に対するメリットも更に向上して行くよう努力したい。（事務局）

質問：少年団名について、「名寄ピヤシリ」から始まる名称になっているが、サッカー少年団と中学生のジュニアユースを統合しチーム名を「名寄サッカークラブ」に変更することになった。そこで、名称が「名寄ピヤシリ」から始まらなければならないルールはあるのか？又、ジュニアクラブ会員としては「旧少年団※小学生」と「旧ジュニアユース※中学生」を別けて登録する必要があるのか？（サッカー少年団）

回答：「名寄ピヤシリ」から始まる名称の経緯は把握していないが、ジュニアクラブ会員の位置づけとして「名寄ピヤシリ」や「少年団」といった名称に拘る必要は無いと思われる。又、「旧少年団※小学生」と「旧ジュニアユース※中学生」を別けて登録するかは、活動内容等も鑑みて個々の団体の考え方によるが、少年団＝小学生というルールや概念は無く、既存少年団に中学生が加入することに問題は無い。（事務局）

質問：代表者会議に参加する代表者は各団体で人選して良いのか？（バレーボール協会）

回答：現状、そこまで詳しく取り決めはされていない段階であるが、団体の考えを尊重する形で良いと思われる。（事務局）

質問：予定されている各種会議体及び専門委員会等の数を見ると、一つの団体から多くて数十名の人材が関わることになるかと推測されるが問題は無いのか？尚、会員自体も頻繁に会議及び専門委員会等が開催されることを理解しておく必要はある。

回答：各団体の規模によっては数多くの人材を出せない状況も考えられることから、今後、新たな組織の中で細部調整が必要だと考える。（議長）

質問：サバゲー協会として8月に風連望湖台でイベント開催を予定している。その利用料について現在、名寄市と協議しているところだが、利用面積によって莫大な利用料が発生すると説明を受けた。又、他施設の利用料も高いことから、各種イベントを開催することでマイナス収支になってしまう状況にある。これら課題に対して新組織として利用料の交渉等に対して協力をして頂けるか？

回答：新団体も会員の為の団体との認識に立って協力していく必要がある。（事務局）
条例等で決まっていない案件であれば交渉の余地はあると考えるので事務局とも相談して頂きたい。（議長）

【提案】

提案：各種会議体が設けられているが、スポーツをやっている子供達自身が意見等を発言できる会議体もあった方が良いのではないか？（風連トランポリン少年団）

提案：中長期計画のマーケティングに関連して、大会誘致事業を進めるにあたって、宿泊確保の調整が難しい面があることから、新組織において宿泊の斡旋等の事業を展開して頂きたい。（サッカー協会）

提案：昨年7月末に、大規模バレーボール大会とサマージャンプ大会更にはてっし祭り（花火大会）と日程が重なり、市内のみならず近隣も含めて宿泊場所の確保に大変苦慮することになった。
新組織では、観光協会も含めて様々な団体の参画が想定されることから、スポーツ大会のみならず市内各種イベント等の情報も収集し、イベント日程を一定程度整理し、限られた市内宿泊キャパを最大限活用できるよう調整役を担って頂きたい。（バレーボール協会）

提案：現在は無くなってしまったが、名寄市スポーツ協会では過去にJrスポーツバスがあった。競技団体によっては将来的に近隣市町村と連携しながら事業を進める団体もあり、そのような時にバスがあると非常に助かる。バス運用を是非検討して頂きたい。（サッカー少年団）

○挨拶 新法人設立準備委員会事務局長 松澤 大介が挨拶を行った。

○閉 会